

## 令和7年度学校評価 評価項目・評価基準

英語によるコミュニケーション活動を通して、相手の思いを受け止めたり、自国の文化や伝統の良さに気づいたり伝えたりできる児童を育成する。（国際科）

評価項目【成果】	評価基準	評価	成果と課題
児童アンケートで、英語を使ってコミュニケーションをとることや外国について学ぶことが「楽しい」と答える児童	A：11人以上 B：9人以上 C：B未満	A	12人の児童が肯定的評価だった。日頃より楽しみながら英語に親しむ活動を取り入れていること、国際交流の内容を工夫し、児童が興味関心を高めながら取り組むことができる活動を行っていることが有効だった。
評価項目【教育活動】	評価基準	評価	成果と課題
英語を使って友達等とコミュニケーションを図る活動を行う。	A：8割の授業で実施。 B：5～8割の授業で実施。 C：B未満。	A	8割以上の授業で英語を使ったコミュニケーションを図る活動を行うことができた。少人数の中で、分からないことがあっても自分から言い方を聞くことができた。
外国の講師等から、外国の文化に触れる活動を計画的に取り入れる。	A：年間5時間以上 B：年間1～4時間 C：実施せず	A	国際交流会では、留学生さん出身国の文化や遊びを教えてもらうことができ、児童の外国への関心を高めることができた。
評価項目【運営活動】	評価基準	評価	成果と課題
授業でねらいを達成するためにALTや外部講師と事前打ち合わせを行う。	A：8割の授業で実施。 B：5～8割の授業で実施。 C：B未満。	A	毎時間授業の前に打ち合わせを行うことができた。ねらいを達成するための手立てや担任とALTの役割分担を明確にして授業を行うことで、分かりやすくスムーズな流れの授業を組み立てることができた。